

# 病虫害発生予察注意報 第3号

## 病虫害名：斑点米の原因となるカメムシ類

1 発生予想 斑点米の原因となるカメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

2 対象地域 県下全域

### 3 根拠

- (1) 県下6地点に設置している予察灯のうち、伊那市、南木曾町及び安曇野市の3地点において、斑点米の原因となるカメムシ類（以下、斑点米カメムシ類）の中で、県下に広く発生しているアカヒゲホソミドリカスミカメの7月2半旬までの誘殺数が平年に比べて多かった（表1、図1）。
- (2) 7月上旬巡回調査において本田のすくい取り（ネット20回振）を行ったところ、全般に平年に比べて斑点米カメムシ類の捕獲地点率は高く、捕獲数は多い傾向であった。また、主に捕獲されたのはアカヒゲホソミドリカスミカメで、捕獲割合は全体の92.6%であった（表2）。
- (3) 気象庁の7月14日発表による1か月予報では、平年に比べて晴れの日が少ないが少雨の状態が続くところがある見込みとなっている。また、気温は3～4週目（7月30日～8月12日）が平年並の確率が50%となっており、斑点米カメムシ類の活動が活発になることが予想される。
- (4) 以上のことから、斑点米カメムシ類の発生が多く、斑点米が多発する恐れがある。

### 4 防除対策と留意点について

- (1) 出穂前後の畦畔の草刈りは、畦畔雑草に生息する斑点米カメムシ類を水田内に追いつまわす恐れがあるので、畦畔の草刈りは出穂2週間前までに行う。また、登熟期間中（特に乳熟～糊熟期）の畦畔の草刈りも畦畔から水田内に追いつまわす恐れがあるため出来るだけ控えた方がよいが、実施する場合には薬剤防除の直前に行う。
- (2) 斑点米カメムシ類は、水田畦畔の雑草管理状況や周辺環境条件等など地域によって発生量が異なる。また、穂揃期に水田内ですくい取りを行うなどし、発生量及び発生種の把握に努め、薬剤選択等防除の参考とする。
- (3) 斑点米カメムシ類は、主に出穂以降に水田内に侵入するため、一般に出穂の早い品種（早生種及び酒米等）で発生が多く、被害を受けやすくなるので特に注意する。
- (4) 防除薬剤は、「平成28年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」に基づき選定する。
- (5) 水稻の生育状況を確認し適期防除に努める。本田防除で粉剤や乳剤を用いる場合は出穂10日後に実施し、斑点米カメムシ類の常習発生地では、さらに7～10日後（出穂17～20日後）に追加防除を実施する。
- (6) 薬剤散布の際は、農薬使用基準を遵守し、周辺への飛散防止に努める。特に、養蜂が行われている地域で殺虫剤を散布する場合には、養蜂業者への情報提供を行うとともに、「平成28年長野県農作物病虫害・雑草防除基準」の特別指導事項等に基づきミツバチへの危被害防止対策に努める。

表1 県内の予察灯におけるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺数

月・半旬	上田市中野		伊那市美篁		飯田市上郷		南木曾町田立		安曇野市穂高		須坂市八重森	
	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年	本年	平年
6月1半旬	0	1.9	0	0.3	0	0.0	0	0.1	0	0.3	0	0.5
2半旬	0	1.2	0	0.0	1	0.5	5	0.0	0	0.1	0	0.0
3半旬	8	7.2	2	0.6	5	4.0	5	1.2	2	0.1	1	0.7
4半旬	22	8.7	10	0.7	12	5.5	6	3.8	1	4.8	0	1.8
5半旬	14	17.7	12	2.7	5	5.3	15	6.1	-	5.6	0	4.2
6半旬	11	37.2	19	8.4	18	12.5	15	7.6	19	10.0	0	6.7
7月1半旬	23	39.6	47	7.2	9	15.5	24	6.7	39	6.0	16	12.2
2半旬	9	61.5	31	19.3	9	5.8	8	4.1	19	9.1	1	6.2
計	87	175.0	121	39.2	59	49.0	78	29.6	80	36.0	18	32.3
平年比	50%		309%		120%		264%		222%		56%	

注1) 平年については平成18～27年(10年間)の平均値。なお、飯田市の平年については、平成24～27年(4年間)の平均値。  
注2) 安曇野市の6月5半旬の調査データは欠測。

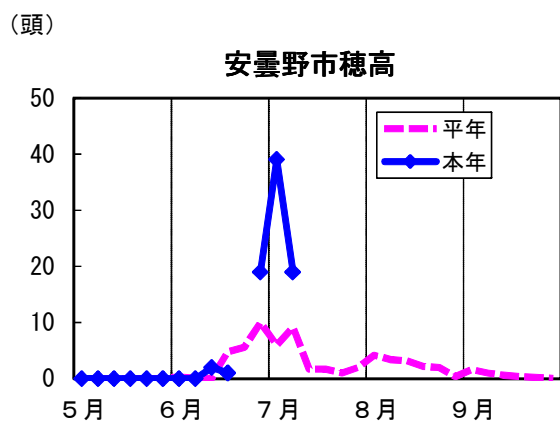
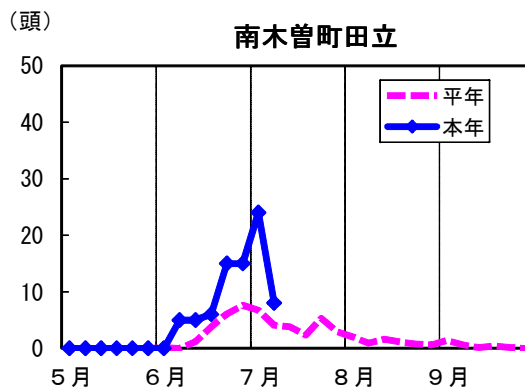
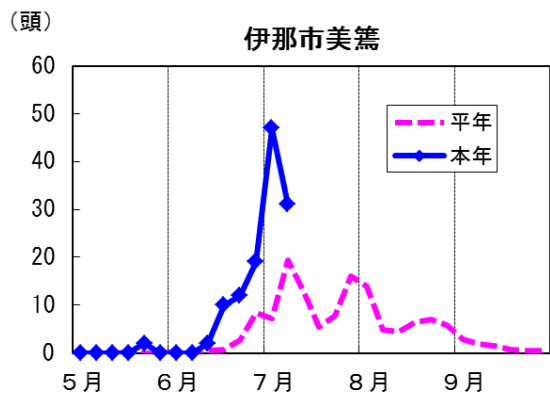


図1 予察灯によるアカヒゲホソミドリカスミカメの誘殺消長

注1) 平年については平成18～27年(10年間)の平均値。  
 注2) 安曇野市の6月5半旬の調査データは欠測。

表2 斑点米カメムシ類の本田すくい取り(ネット20回振)による捕獲状況(7月上旬)

	調査地点数	捕獲地点率(%)		1地点当り捕獲数				斑点米カメムシ類の捕獲数(捕獲割合(%))				
		本年	平年	本年			平年	計	アカヒゲ ホソミドリ カスミカメ	アカヒメ ヘリカメ ムシ	トゲシラ ホシカメ ムシ	ホソハリ カメムシ
				平均	最多	最少						
東信	14	28.6	22.4	1.29	8	2	0.47	18	18	0	0	0
南信	20	40.0	16.2	0.50	2	1	0.25	10	8	1	0	1
中信	20	45.0	24.7	0.65	3	1	0.51	13	8	2	2	1
北信	16	62.5	31.3	3.38	21	1	1.16	54	54	0	0	0
計	70	44.3	23.1	1.36			0.57	95 (100%)	88 (92.6%)	3 (3.2%)	2 (2.1%)	2 (2.1%)

注1) 調査方法: 本田内においてすくい取り(ネットを20回振)で捕獲された斑点米カメムシ類(成虫及び幼虫)を調査した。  
 注2) 平年は平成18年～27年(10年間)の平均。  
 注3) 捕獲地点率(%): 調査地点のうち斑点米カメムシ類が捕獲された地点の割合。  
 注4) 1地点当り捕獲数: 捕獲数計(成虫数+幼虫数)÷調査地点数。

長野県病害虫防除所  
 久保田 純司(所長) 湯本 純(担当)  
 TEL: 026-248-6471(直通)  
 FAX: 026-248-6473  
 E-mail: bojo@pref.nagano.lg.jp